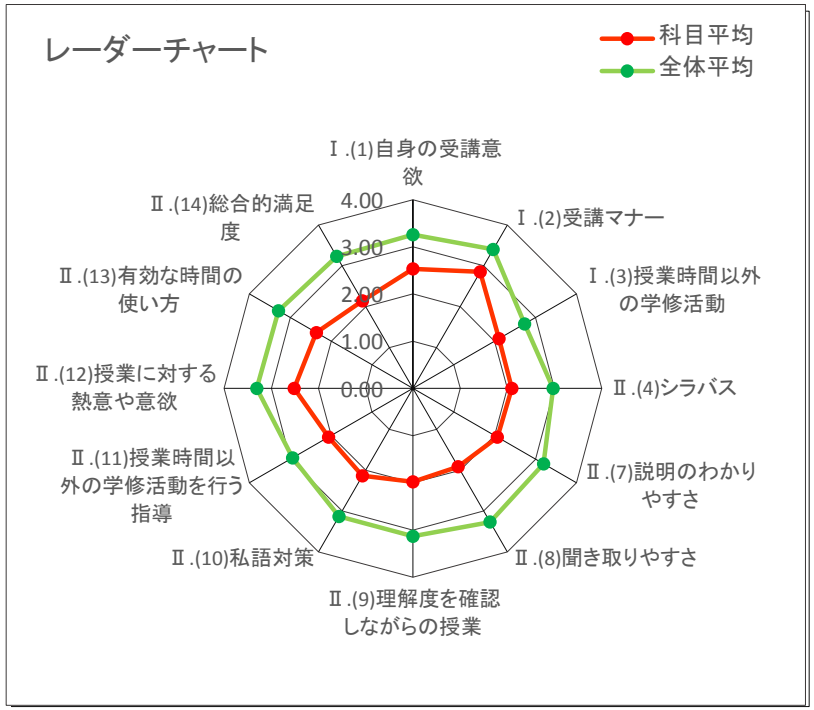
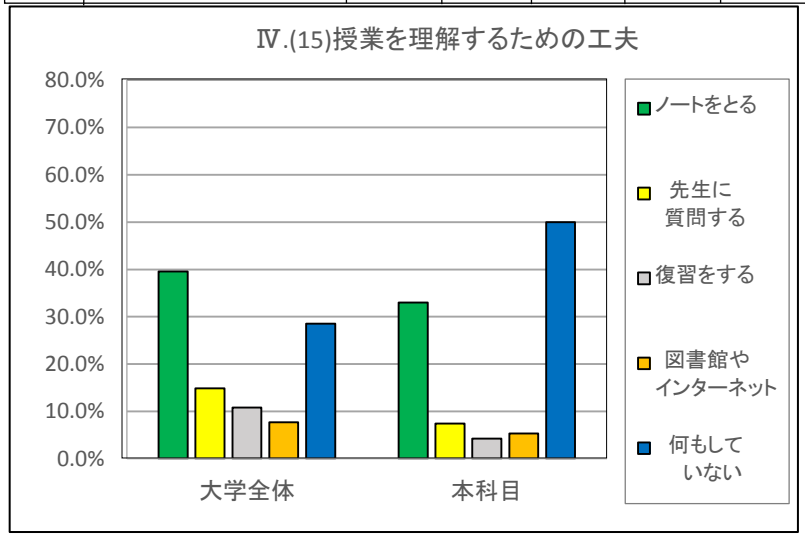
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	2.53	3.26
	Ⅰ.(2)	2.85	3.40
	Ⅰ.(3)	2.11	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.10	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	2.06	3.20
	Ⅱ.(8)	1.91	3.27
	Ⅱ.(9)	1.98	3.13
	Ⅱ.(10)	2.14	3.13
	Ⅱ.(11)	2.06	2.94
	Ⅱ.(12)	2.52	3.31
	Ⅱ.(13)	2.36	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	2.14	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	33.0%	7.4%	4.3%	5.3%	50.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	2.50	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	2.14	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	2.14	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	32101
科目名	健康スポーツ（理論）
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスのコンテンツからいえば個人の「運動処方プログラム作成」の課題が残された。
歩行実習を通じて学ぶ予定であった。後期実技の時間の課題としたことを告げた。
少し強引であったが、シラバスの内容を充たすべく後半に進度が速くなった。

②授業の進め方について

コンテンツとした、Ⅰヒトのからだの理解（生理学・解剖学・発育発達）、Ⅱ健康・体育・スポーツの基礎、Ⅲスポーツ文化（ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ）については学習出来た。がしかし、理解度の確認のための中間試験と評価の大きな根拠になる期末試験の実施計画を急ぎ、後半、早い進行となった。その分プリント資料を毎回印刷配布した。最初は、重要事項を判断しノートを取ることが大切と述べながら、後半プリント配布の講義となってしまった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

中間テスト実施で、記述式で解答を求めるとほとんど解答できない受講生数が2ケタ以上いることが判明した。中間テストの解答を通じ、前半講義の復習を実施した。「次の試験本気で頑張ります」と動機づけに成功したグループが形成された。しかし、配布資料・ノート持ち込み試験でないと対応できない「自信喪失した」動機づけ失敗のグループも形成させた。「教員採用試験に持ち込み試験は無い！」の私の発言に反発する集団を形成させた。
クラスを分けに工夫が必要である。学習意欲が無く平然とすぐに寝る学生への厳しい対応指導でまじめな学生が閉口したことが推測される。

奈良学園大学